

長崎駅周辺エリアデザイン調整会議(第5回) 議事 記録	
日時・平成27年2月17日(火)16:00～17:30 於・長崎市市民会館 アマランス研修室1	
出席者	別紙出席者名簿の通り
議 事	<p>1) 開会</p> <p>2) 議事</p> <p style="padding-left: 40px;">会議の公開について (資料1)</p> <p style="padding-left: 40px;">デザイン指針(案)について</p> <p style="padding-left: 40px;">・意見への対応整理表 (資料2)</p> <p style="padding-left: 40px;">第4回調整会議における意見への対応について</p> <p style="padding-left: 40px;">パブリックコメント等における意見への対応について</p> <p style="padding-left: 40px;">シンポジウムとワークショップにおける意見への対応について</p> <p style="padding-left: 40px;">・デザイン指針(案) (資料3)</p> <p style="padding-left: 40px;">デザイン指針の運用の方向性(案)について (資料4)</p> <p style="padding-left: 40px;">今後のスケジュールについて (資料5)</p> <p>3) 閉会</p>
1) 開 会	
事務局: 市・片江室長	<p>定刻になりましたので、ただいまより、「長崎駅周辺エリアデザイン調整会議(第5回)」を開催いたします。</p> <p>長崎市まちづくり推進室長の片江でございます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、開催にあたりまして、長崎市建設局都市計画部理事であります吉田よりご挨拶を申し上げます。</p>
長崎市・ 吉田理事 挨拶	<p>長崎市建設局都市計画部会長の吉田でございます。本日、委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>「長崎駅周辺エリアデザイン調整会議」は、今回で第5回目の開催でございます。委員の皆さまには様々なご議論をいただき、厚く御礼を申し上げます。</p> <p>デザイン指針の策定も大詰めを迎えておりまして、年末からパブリックコメントや関係自治会、関係団体に対する説明など県民、市民の皆様のご意見を聞きながら作業を進めて参りました。</p> <p>本日は、新年度からの運用に向けて、指針の最終案や運用の考え方についてご議論をお願いしたいと考えております。詳細につきましては、事務局より説明を</p>

<p>事務局: 市・片江室長</p>	<p>させていただきますので、どうぞ忌憚の無いご意見をいただければと思います。本日は、どうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>ここで配布しております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料一式をお手元に配布させていただいております。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・出席者名簿及び配席図 A4 版両面 ・(資料1) 会議の公開について A4 版 ・(資料2 - 1) 指摘事項と対応について A4 版横 ・(資料2 - 2) パブリックコメント等における意見への対応(案) A4 版横 ・(資料2 - 3) シンポジウムやワークショップにおける意見への対応(案) A4 版横 ・(資料3) デザイン指針(案) A4 版 ・(資料4) デザイン指針の運用の方向性(案)について A3 版 ・(資料5) 今後のスケジュール A4 版 ・(参考資料1) 長崎市中心部各エリア相互の連携 A3 版 ・(参考資料2) 第2章 私たちの目指す空間デザインとは A4 版 <p>資料の不足がございましたら、事務局にお知らせください。</p> <p>本日は、東京大学の尾崎委員につきましては、大学用務のため、ご欠席となっております。</p> <p>中川委員につきましても、所用によりご欠席となっております。</p> <p>本日の委員会は17:30までの1時間30分となっておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>では、議事に移らせていただきます。</p> <p>林座長、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>2) 議 事</p>	
<p>会議の公開</p>	
<p>林 座長</p>	<p>それでは、次第に従いまして、会議を進めさせていただきます。</p> <p>まず、議事 会議の公開についてお諮りいたします。</p> <p>本日の会議は、資料1にありますように、公開とし、公開の方法は、会議の傍聴と氏名を含めた議事録の公表をもって行うこととしてよろしいでしょうか。</p>
<p>全委員</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>林 座長</p>	<p>では、傍聴及び氏名を含む議事録の公表により、本日の会議を公開することと</p>

	いたします。
デザイン指針(素案)について	
林 座長	次に、議事 デザイン指針(素案)について、事務局より説明をお願いします。
事務局: アリエ T-Plus 辻	・(資料2 - 1)指摘事項とデザイン指針(案)への反映について ・(資料 - 3)デザイン指針(素案)、参考資料-1、-2 説明)
林 座長	前回会議で指摘された点について修正されたデザイン指針(案)を説明していただきましたが、何かご質問やご意見はないでしょうか。
篠原副座長	このデザイン指針に関する本質的な話ではありませんが、参考資料1で配られている資料は、駅周辺エリアと周辺エリアとの繋がりを示したもので、これは大事だと思いますが、少し疑問点と分からない点があるので教えていただきたい。一つは、細かい話ですが、浦上方向から黄色で「空港から」と矢印が描かれているが、こっちは入らないではないか。
林 座長	あります。バスのルートによって両方から入ってきます。
篠原副座長	失礼しました。それから一番下の国際ターミナルで「海外から」と書いてありますが、国内クルーズも松が枝に着くので、国内も追加した方が良いのではないのでしょうか。 それから真ん中のところに、「離島航路ターミナル」と書いてありますが、確かにそうですが、軍艦島へ行ったりする「周遊のターミナル」でもあるので、それも書いた方が良いのではないかと思います。 それから次からは分からないところですが、「シンボル軸」というものがあって、これは要するに長崎街道で、県庁に行く通りだと思いましたが、ここに「出島」が表記されていないのはまずいと思います。それから次は、その右側に「まちなか軸」と書いてありますが、これは「まちなか軸」で良いのですか。これだと、浜町商店街は陰が薄い感じになりますけど良いのでしょうか。
林 座長	これは、東の方から松が枝までつながっている動線を「まちなか軸」と呼んでいます。
篠原副座長	これを見ていると一番の繁華街、浜町商店街とかが全然書いてないから、それで良いのかなと思いました。デザイン指針と関係ないことですが、位置づけとしては重要なので発言しました。
林 座長	参考資料1はデザイン指針には入れないということを前提にしていますが、詳しく書いておいた方が良いでしょう。この図の扱いには、少し注意してもらった方が良いでしょう。というのは、この図だと浦上方面は何もしないというように見えてしまう。まちなかの方ばかり見えています。今、浦上方面は結構人口も増えているので。これは都市再生との絡みで言いますけれど。
事務局・ 其田補佐	参考資料1の右上に「都市再生の全体概要図より」と書いていますが、実際の概要図はもう少し詳しく記載されています。今回は、各エリアの関連性が分かる

	<p>ようにということで、関係が薄いところは省いてしまった関係でこういう書き方になってしまっています。</p>
林 座長	<p>他に無いでしょうか。</p>
今村委員	<p>質問ですが、指針の第2章(4)までイメージ図が記載されていて、それ以外に参考資料2でイメージ図のフォーマットが出ていますが、これは(5)(6)も指針の中に追加するということでしょうか。</p>
事務局 市・浜崎係長	<p>今のご質問にお答えいたします。指針P20の「3.空間デザインのイメージ」として(1)(2)(3)(4)とありますが、それに引き続いて「(5)港側からの駅南側のイメージ」、「(6)新幹線ホームからの長崎港を見たイメージ」の2点を追加していきたいと考えています。イメージ図が出来ていないため、出来た段階で追加してはどうかというご提案が前回の調整会議でありましたので現在は追加しておりませんが、今回、私たちの考えとしては、イメージ図は出来た段階で加えるけれども、こういった大事な考え方は、現段階で文章だけでも指針の中に加えておいてはどうでしょうかというご提案をさせていただいております。</p>
今村委員	<p>今は入っていないけれども今後、入ってくるということですね。</p>
林 座長	<p>他にどうぞ。</p>
平松委員	<p>今のご質問に関連して、指針として一応この年度末でまとめるということをお考えますと、重要な事項に当たりますので、私も言葉だけでも盛り込んでおいた方が良いと言う風に思っております。また、少し細かいところですが、参考資料2の1枚目の一つ目の のところに「南側の駅舎デザインは・・・」と書いてありますが、デザイン指針はこのエリア全体の主旨をお考えますと、駅舎だけに囚われずに、街区の南側というようなイメージが出る表現にした方が良いかなと思ひまして、例えば「駅舎の南側を含む街区の南面は・・・」といった表現にしておいた方がよりはっきりするかなと思ひます。それから次のページの の二つ目に「駅ホームから長崎港、鍋冠山等が望めるように・・・」と書いてありますが、ここについては、良好な眺望が確保されるということが大事だと思ひますので、「鍋冠山等への良好な眺望が確保されるように建物の建て方に配慮します」とし、今の元船地区の建物が、これから建替等があった時にきちんと配慮されるようにするといった観点で記載しておいた方が良いかなという風に思ひました。</p>
林 座長	<p>今の2点、対応をお願いします。</p>
山口委員	<p>指針P12「(2)歩くことが楽しくなるまちにしよう」で、細かい点ですが、1行目の「鉄道・路面電車・自動車・自転車などさまざまな交通手段・・・」とありますが、ここにはっきり「バス」と書いていただいた方が公共交通とか交通結節という意味では分かりやすいと思ひます。いかがでしょうか。</p>
林 座長	<p>宜しいですか。</p>
事務局 市・浜崎係長	<p>今のご意見は、この中に「路線バス」というようなことを具体的に入れた方が良いという風なご意見でしょうか。</p>

山口委員	「自動車」の前に「バス」という言葉が一つ入っていた方が分かりやすいなということです。
事務局 市・浜崎係長 林 座長	<p>分かりました。</p> <p>他にいかがでしょうか。まだ全体的にきちんと見ることが出来ていないところがあるかもしれません。</p>
平松委員	<p>申し上げるかどうか迷っていましたが、P29「交通の乗換えや歩行の利便性を高める」について、これは前回、私の発言も踏まえて、事例を新しく差し替えていただいているのですが、今回の駅の広場のデザインを考えますと、やはり東西に長く広い空間をどうやって雨除けを工夫していくかということになりますので、この事例だと建物に沿った場所のイメージになってしまうので、その広い空間で雨除けを確保しながら歩行者が歩けるイメージで良い事例があれば、もう一回チャレンジして探してもらおうと有り難いと思います。</p>
林 座長	<p>同じような事で細かいところですが、P32の「(作法 C-1)建物のボリューム感を低減させる」で、建築家から見ればその通りだと思いますが、前川先生の昔の建物とか、内藤さんの外壁、分かりにくいと思います。新しい市民病院もこのままでは分かりにくい。市民病院の建物のボリューム感は、まだ建っていないところで、かなり工夫しておられる。「垂直方向に分節化したファサード」というのも言葉として何を意識しているのか分からない。例えば「ヒューマンスケールの回廊を挿入することで」ということであれば、外国の例で恐縮ですが、ポローニヤとかのアーケードがずっと続いている例の方が良いかなと思います。</p> <p>それから次のページ「(作法 C-2)敷地境界付近のづくり方」の歩行空間のところ「オープンなしつらえの例」としてこのポルトが良いのか。普通でいけば、パリのカフェあたりを出しておいた方が良いかなと思います。何となくこれだと歩道を不法占拠している感じがします。</p>
事務局 市・浜崎係長	<p>今のご指摘の事例については、事務局でも検討し対応していきたいと思えます。</p> <p>それから、この時点で、パブリックコメント等における意見への対応(案)について紹介させていただきたいと思えます。</p>
事務局: 市・浜崎係長	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料 2-2) パブリックコメント等における意見への対応(案) ・(資料 2-3) シンポジウムやワークショップにおける意見への対応(案)
林 座長	<p>ありがとうございました。今ご説明いただいたパブコメについての対応状況が資料2-2にあります。例えば、(29)の意見が(C)となっていて、今後の検討課題となっていますが、「長崎駅は三角屋根」というのに対しては、(C)というより(D)とした方が良いのではないかと思います。現在の駅が既にそうですし、「東京駅のように」というお話もモノがそういうものであれば、そうなるかもしれない。</p>
事務局:	<p>これにつきましては、事務局としましては、駅舎そのものを昔のような形にするということで、(C)にした訳ではなく、例えば、駅広場にモニュメントなどで少</p>

市・片江室長	<p>しても姿が残せればといった考えで(C)にしていたのですが、今、議論が進んでいく中で、入れることが難しいというご意見であれば、これは(D)ということにしてもやぶさかではございません。</p>
林 座長	<p>他に何かお気づきの点はありませんでしょうか。</p>
篠原副座長	<p>資料 2-2「パブコメ案」の(4)「デザイン調整は時間がかかると考えられるため・・・」と書いてあって、それについては、どの段階で届出あるいは報告をしてもらってデザイン調整を始めるのか、ということは何か明示してありましたか。それから「事業者の負担にならないようにしてもらいたい」というのは、これはその通りですが、あまりルーズにしていたら意味が無いので、このエリアでは、民間の事業者なり、設計をする人にもかなり頑張ってもらわないと駄目ですということをおっしゃるべきだと思います。</p>
事務局: 市・片江次長	<p>資料4で運用についてまとめていますので、今の篠原委員からのご質問については、後ほどご説明を差し上げたいと思います。</p>
林 座長	<p>あらかた意見が出たかなと思いますが、ただ細かく見ていきますと、たぶんもっといろいろな意見があるという気もします。例えば、資料-3「デザイン指針(案)」P5下から3行目に「適宜充実化を図っていきます」というのがありますが、言葉がおかしい。「充実化」という言葉はあるのでしょうか。2回も使われています。何か逃げている表現なのでもう少しはっきり積極的な姿勢を示しても良いのではないかと思います。</p>
事務局: 市・浜崎係長	<p>この指針の説明を建設関係団体の方々へ説明していく時に、地元の設計者の方々の意見も踏まえて欲しいという意見がございました。その中でやはり第1章、第2章については、きちんと方向性を固めていくものなので、そこを変えることは難しいですが、第3章の作法については、今後、良いアイデアを持ち込んで、充実させていく必要があるということで、今後、意見交換の場を設けたりしながら、この指針の必要なところは加えていこうと説明した経緯があります。そういったところから事務局としては「充実化を図っていく」という表現を使っていますが、もう少しストレートに書いた方が良いということであれば、書き直しを検討したいと考えています。</p>
林 座長	<p>確認ですが、最終的には今日、最終の結論を出さなくても良いのですか。もう1回調整会議はありますのでそこで最終確認するというのでいいとすれば、前回の指摘いただいた点は、大まかにほぼ修正されていますが、いくつか本日出していただいたご意見についても対応可能だということによろしいですか。</p>
事務局: 市・浜崎係長	<p>第6回の調整会議は、非公開ということで、駅舎・駅広の分の報告をさせていただき予定になっていますので、本日は、内容に大きな違うところが無ければ、大枠の方向性としてご了承をいただいて、今日ご指摘のあった事項についての修正を第6回で報告させていただくという流れにさせていただければと思います。</p>
林 座長	<p>その通りにしようと思いますが、細かく読んでいった時に、変だなと思う表現等があったり、あるいは、先程指摘があった事例写真等の適切さのような部分の指摘が、たぶん皆さんゆっくり読んでいただくと、出てくるのではないかと思います。</p>

ます。

ですから、今日のところは、「デザイン指針(案)」の方向性と言いますか、おおよそはこれで宜しいということをご了解いただくと一番良いかなと思っています。

そういうことでよろしいでしょうか。

それでは、今の点につきましては、一週間から10日位の間に、もしお気づきの点があれば、事務局の方に何らかの形でご提案いただくということにさせていただいて、この出されている「デザイン指針(案)」については、了解したということにしたいと思います。

では、これは調整会議でとりまとめた「デザイン指針」とします。

次に、議事3「長崎駅周辺エリアデザイン指針の運用の方向性(案)について」に進めたいと思います。まずは事務局から資料説明をお願いします。

事務局:
市・浜崎係長
林 座長

・(資料4)デザイン指針の運用の方向性(案)について (説明)

「ながさきデザイン会議」とはどのようなものか、知らない人もいると思うので、その説明と、記載されている「高さ20m・延べ面積3,000㎡」の根拠について、少し説明してください。

事務局:
市・片江室長

「ながさきデザイン会議」ですが、以前、まちなかでの建て替えであるとか、民間の大きな建築物のデザインをそれなりに地域の雰囲気に合わせてものにするために、専門家からご意見をいただきながら、設計者の方に指導していかないといけないということで、いろいろなカテゴリーに分けて景観アドバイザー制度というものを設けていました。それを3年ほど前に集約して、色彩、建築、土木それと都市デザインの専門家の方々、いわゆる学識経験者の中に民間の方も入って、デザインの調整を行う会議がこの「ながさきデザイン会議」でございます。

そして、「高さ20m・延べ面積3,000㎡」の根拠に関しましては、長崎市には景観計画というものがあまして、その中で、景観計画の一般地区として指定された所につきましては、「高さが20mを超えるもの」、「延べ床面積が3,000㎡を超えるもの」、「外壁の全体の1/2以上の色の塗り直しを図るもの」などについては、まず届出をして、景観に関するルールが守られているかを確認した後に、建築確認の手順の流れでいくというようなことを定めております。そういった流れが既にあるものですから、それを、長崎駅周辺エリアでまた改めて別のルールを作ることも無いので、それを運用して、とにかく物件をきちんと把握し、今回も運用してはどうかということで、この数値を上げている状況です。ただ、先程も言いましたように、通常、40mを超えるものを「ながさきデザイン会議」で具体的に調整する物件と位置づけております。20mとか、3,000㎡を少し超えるものに関しては、届出はあったにしても、ルールが守られているかを行政側が窓口でチェックをするだけということになります。このエリアの中に関しては、少し手厚くして通常は届出だけで済ませている所を「ながさきデザイン会議」できちんとコントロールするよう、今回提案をさせていただいています。

林 座長

何かご意見ありますでしょうか。

篠原副座長

先ほど質問したことですが、届出は着工の前のどの位に設定してあるのです

	か。
事務局: 市・片江室長	具体的に何日前までに届出をしなくてはならないという定めはございません。ただ、景観に関する協議が終わらないと、建築確認の受付をしないよう、建築部門と連携を図っております。以前は、例えば、もう一月以内にいろいろと作業が終わらないとどうにもならないということや、出来上がったものの後追いで届出を行うようなことも、結構ありましたが、近年は、こういったシステムを長崎市が持っているということがかなり周知されて参りまして、景観協議の時間を含めた上で、建築確認が通るように、設計者の方が自ら、スケジュールを聞いて、持ってくるようになっていきます。常々、こういうシステムがあるということは、私も周知を図っておりますし、かなり浸透してきておりますので、事前にこういった点が我々としては配慮してほしい点だという情報提供も含めて、かなりスムーズに出来るようになってきましたので、今のところ、具体的に何日前と設定するということはございません。
篠原副座長	分かりました。それは了解しました。これは意見ですが、適用除外のところで「仮設建築物(仮設期間1年)」とありますが、仮設期間1年というのは、結構長く、少し甘過ぎませんか。
事務局 市・浜崎係長	今、想定している仮設建築物は、工事の際の仮設建築物を想定しています。工期が2カ年に跨がったりするところは、1年をこういう理由で更新しますという風なところで、対応してはどうかと考えております。
篠原副座長	分かりました。ここで想定しているのは分かりましたが、要するに作業小屋みたいなものを考えているということで、それは全然規制しないのですか。例えば、色はすごく無愛想だったりすると思います。
事務局 市・浜崎係長	通常、工事現場で使われている仮設建築物については、プレハブが結構多いというような事があって、だいたい似た色の建物が使われているということでありますので、そこまでは想定していないということです。
篠原副座長	これで良いもよいですが、仮設の建物を造って、一年間何か行うということは、横浜の方では結構されています。子どもを寄せるアンパンマンの店など、そういうのは全く出ないという風に想定している訳ですね。
事務局 市・浜崎係長 篠原副座長	そうです。今のところはそこまで想定はしておりません。 分かりました。
林 座長	想定しなくても、「ながさきデザイン会議」の方で、指導か、要請は出来るのでしょうか。
事務局 市・浜崎係長	林先生がおっしゃられる通り、想定はしていないけれども、可能性としてはあると考えておりますので、そういう場合は、「ながさきデザイン会議」に諮って、色合いが不適切な場合は、指導を行ったりという風なことも柔軟に対応していきたいと考えております。

林 座長	むしろ、仮囲いです。結構長い間、仮囲いしないと駄目だという場合にその囲いが、例えば、全く中を覗けないようなもので行うのか、チラチラと見えるようにするか、あるいはキャンパスに仕立て上げて、そこを見て楽しいものにするとか、最近よく行われています。その辺については、むしろ「ながさきデザイン会議」の方にお諮りして、よくご指導いただくと良いのではないかと思います。
事務局 市・浜崎係長 林 座長	分かりました。 他にございますか。
池田委員	今のところで、「長崎駅周辺エリアデザイン調整会議」に諮る案件としているオレンジ色の一番端の角のところですが、こここのところで「TM線や歩行者専用道路に接する敷地における建築行為等」、これで読む訳にはいかないのか、仮設建築物は、この2つの主要道路に接するところについては、こっち側で読んでいると言えば良いのではないかと。それ以外の仮設建築物や柵は、こちらが良いが。
事務局 市・浜崎係長 高尾部会長	分かりました。 少し確認しておきたいのですが、そもそもこの調整会議の設置要綱ってどんな風になっていたか、余り良く覚えていないので、お聞きしたいのですが、今年の4月からこの指針が施行されると、こういった形で「ながさきデザイン会議」と連携して建築行為と開発行為に対するデザインコントロールの場にもなりますが、もう一つ役割としては、まだ駅舎とか駅前広場とかの設計がこれからどんどん進んでいくので、そこと周辺の民地というか、事業同士の調整機能というのがあります。つまり、この「調整会議」の機能としては、大きく2つ、事業間調整と個別の民間の開発行為に対するデザインコントロールと2つ出てくるという理解で宜しいですか。
事務局 市・浜崎係長	今の高尾部会長のご指摘の通り、駅舎・駅前広場関係の議論が続いておりますので、当然、今のメンバー、体制でやっていくということになりますが、個別の建物のデザイン調整になった時には、専門家の方々が密な感じで行っていく方が良いと思っておりますので、そういう場合には「調整会議」といっても、専門家だけの体制で行っていくということも必要ではないかという風に考えております。その時期については、今後検討していきたいという風に考えておりますが、大きな考え方としては、今、そういう風に考えております。
高尾部会長	分かりました。次回が今年度最終回で、来年度以降、「長崎駅エリアデザイン調整会議」がどういう風な役割を担って、どういう風に動いていくのかということとを少しまとめたものを次回の調整会議に1回出して、みんなで議論した方が良いと思います。 それからもう一つは、このフローチャートでいった時の、デザイン調整組織や調整会議に出した時に、「ながさきデザイン会議」はほぼ毎月開かれていますし、窓口で調整業務をやっているの、専門家の意見を聞きながら、窓口で調整というは割と行いやすいと思いますが、この「長崎駅エリアデザイン調整会議」は、そこまでの回数は恐らく開けないので、開発業者との窓口業務の中に専門家の意見をどういう風に随時、反映させるのかというところの持っていき方については、何か想定があれば教えてください。

<p>事務局 市・片江室長</p>	<p>相当の敷地、建物の規模があるものでなく専門家への持ち回りで済ませてしまえる物件は、逆に「ながさきデザイン会議」で調整して良いのかなという考えはあります。やはり、それなりのボリュームがあって調整がしっかり出来る案件については、「デザイン調整会議」の場でしっかり議論していくといったように、このエリアの中にあっても、スケジュール的あるいは専門的な意見の必要性で、この「デザイン調整会議」で諮れるものとそうでない「ながさきデザイン会議」に委ねるものというのは、自ずと選別されてくると思っております。事務局の方で、地区計画であったり、景観計画のフィルターを通して、全ての届出が必ず上がってきますので、その中で、これはどっちだというようなことを判断して、それをまずお示して、皆さま方のご意見をいただきながら、特にこれはどうかと思うものについては、どこが調整するかを決めていきたいと思っております。</p>
<p>高尾部会長</p>	<p>その調整段階における専門家の意見の反映については、適宜、学識の先生方にお伺いに行くといった、そういう形の進め方と思っておいて良いですか。例えば、年3回くらい開催されるとして、開発の案件が上がってきた時に、次の「デザイン調整会議」の開催は、2ヶ月先ですと、その時に事務局の窓口でいろいろと協議して調整されるのでしょうか、その2ヶ月先までの間に、専門家の意見をどういう風に反映するのでしょうか。特に大事な案件がここに上がってくるので、事前協議の段階で、専門家の方々の意見を取り入れていく仕組みというか、手順を考えておいた方が良いのではないかと思います。</p>
<p>事務局 市・浜崎係長</p>	<p>今、「環長崎港地域アーバンデザイン会議」が開催されていますが、その会議の前にアドバイスしていただく方を決めておいて、その方と事前に調整を行い、スムーズに会議が流れるようにしている状況があります。今回、この「デザイン調整会議」もそういう風な良い所を取り入れていくような形で、運営していったらどうかという風に考えておりますが、高尾先生のご意見を踏まえて、今後検討していきたいと考えております。</p>
<p>林 座長</p>	<p>是非、その検討をお願いしたいと思います。いずれにせよ、この「デザイン調整会議」全体の進め方については、現時点では、なかなかそういう細かいところまで想定しにくいので、「デザイン調整会議」が全体の方向性を決めて、何か専門家の会議や部会なりを開いていただいて、大事なところはそちらでお願いしていくようにしないと回らないと思いますので、是非、その辺の検討をお願いします。</p>
<p>事務局 市・片江室長</p>	<p>大型の公共施設を扱う場合と民間の建築物を扱う場合については、体制を考えるべきだと思っておりますので、より動きやすいコンパクトな機動性のある組織を考えていきたいと思っております。</p>
<p>篠原副座長</p>	<p>長く携わっている「環長崎港地域アーバンデザイン会議」と「専門家会議」の話が出たので、確認しておいた方が良くないかと思いますが、これは重要なことですが、調整というのはどこまで行うのですか。つまり、色の変更とか、木をもう少し植えてほしいとか、この出入口の位置は少しずいとか、あるいは、駐輪場をここに設置してほしいなどそこまで踏み込むのか。つまり、表面の装飾だけじゃなくて、場合によっては、平面のプランも変更させたり、そういうことまで行うのでしょうか。その辺のイメージはどう考えているのですか。「ながさきデザ</p>

	<p>イン会議」では、どこまでやっているのですか。</p>
<p>事務局 市・片江室長</p>	<p>「ながさきデザイン会議」では、床の用途に関しては、さすがにそれは申し上げないのですが、例えば、道路に面した部分の物の置き方、使い方。例えば、ゴミステーションであるとか、駐車場の出入口であるとか、それから人の出入りする部分の外観などに関しては、かなり意見を出します。それを反映していただける場合もありますし、どうしても物理的に無理だという場合もあります。そこが調整です。やはり、それなりに沿道から見た時の空間の大事さに重点を置いて、言うべきことはきちんと行っていくことが「ながさきデザイン会議」です。ですから、「デザイン調整会議」の場合においても、外見だけというのではなくて、やはり機能の置き方についてもご指導いただいでいくべきだと私は考えております。</p>
<p>篠原副座長</p>	<p>安心しました。人によっては、デザインは色だとか、飾りだけだと思っている人もいますので、その中身まで話したいと思っています。横浜は、場所によって違いますけど、馬車道という所では、もっと激しくて、1階には銀行を作っちゃいけないとなっていて、つまり銀行は3時くらいに閉まってしまう。だから街が閑散としてしまうので、銀行は2階に持っていくという。そこまでかどうかは別として、今の片江次長の話でイメージは掴めました。</p>
<p>今村委員</p>	<p>今作っているこの「デザイン指針」が、ここで言う「デザイン調整会議」とか、「ながさきデザイン会議」がこれをもって指導していくことになりますが、これに掛からないものは、景観計画にも掛からないという感じで、高さ20m以上、延べ面積3,000㎡を超えるものというのは、少し緩いかなという気がしております。この緑色のエリアでも、3,000㎡にならないとデザイン調整の場が上がってこないし、景観計画でもチェック出来なくなるというのは、少しまずいと思っています。特に駅の東口を出て正面にあたる駅前商店街あたりの国道の側の部分が、やはり重要になると思いますので、もしかしたら、地区計画か何か掛かっているのかも知れませんが、もう少し、特に正面の所は小さな開発行為のチェックが出来るようにできないかなという風に、個人的には思っておりますがいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 市・浜崎係長</p>	<p>今村先生のご指摘の通りに、やはり駅を出た時に東側の駅前商店街付近が目に入ってくるということでありまして、パブリックコメントでもそういったご意見が出されています。今日の時点ではそういったご意見が出ているということで、委員の皆さまのご意見を聞きながら、次回以降少し議論を深めていければどうかという風に事務局としては考えております。</p>
<p>高尾部会長</p>	<p>今の意見に関連してですが、恐らく、駅前商店街あたりで、デザインコントロールしていこうとすると、こういった形でルールを決めて落としていっても、余り意味が無いので、商店街の方々とか、自治会とか、地元の方々と話し合いをしながらガイドラインを作って、街がめざす方向性をやはり駅前商店街と、もう一回議論しなければならぬタイミングではないかなと思いますので、そういったことから始めていって、少しエリアを絞って行政と住民と一緒に運用していきけるようなルールを作っていくことが大事なのではないかと思えます。</p>
<p>篠原副座長</p>	<p>そのとおりだと思います。</p>

今村委員

今のところは、地区計画では、八千代町の方は確かあったと思いますけど、こちら側はない。

事務局
市・浜崎係長
林 座長

そのとおりです。地区計画は掛かっておりません。

今の点は、すごく大事な点でしっかりとやっていかないといけない。

篠原副座長

確か、以前に高尾君と卒論で地区計画のことを調べたことがあって、地区計画の前は建築協定で23区を調べていました

ご承知だと思いますが、建築協定では、法的担保が出来ないので、都市計画法で地区計画を定めているのですが、彼が調べていったら、地域の差があるにも関わらず、ほとんど同じルールになっている。つまり、地区計画は勾配屋根にしなさいとか、住宅だとセットバックしなさいとか言っていますが、結局、それさえ守れば良いという感じで、殆ど良いまちなみにならない。だから僕は、地区計画というのはあんまりしっくりこない。

私が関与したので言うと、日向のまちなみは、駅舎を造ったのですが、その後、まちをきちんとしていかないといけないということで、中堅の建築士の方に集まっていたいて、まちをどうしていくか検討していただいたのですが、その時も意見が出て、“なんで1mセットバックするのですか”、“なぜこの色ですか”と言われました。つまり、何のためにというのが書いて無い。そうでは全くやる気にならないので、内藤さんが合宿などを行って、こういうまちにしましょうということで、「5つのたまり」という目標を作りました。冬の寒い時に陽だまりが出来る。日向ぼっこができるような場所を造りましょう、風が抜けるようなまちをつくりましょうなど記載されており、あれは日向でパンフレットになっていますから、それを参照してもらいたい結局、地主や商店の人たちがやる気にならないといけない。これを守れば良いというものでは駄目だと思います。

だから、僕は、駅前商店街は、是非ともそういうもので行って欲しいと思います。本当に、林先生が言ったように、要するに、やる気の問題なので、ルールを作っていけば良いという問題ではないと思います。

林 座長

いずれにしても、駅前商店街は、駅から離れることで、これからかなり危機感が出てくるし、それを何とかしなくてはならない。帰りに“あそこでご飯を食べよう”というようになるようにするにはどうしたらいいかを考えないとけない。

それ以外の点について何か。宜しいですか。

それでは、先程の「議事3・デザイン指針の運用の方向性(案)について」は、今後、「長崎駅周辺エリアデザイン調整会議」としては、「ながさきデザイン会議」とうまく連携しながらデザインコントロールを図っていくということと、うまく回転させるための仕組みを考えていくということで、本案を運用の基本的な考え方としていくことで宜しいでしょうか。

では、次に「議事4・今後のスケジュール」ですけれども、事務局より説明をお願いします。

事務局
市・浜崎係長

「今後のスケジュールについて(資料5)」説明

<p>林 座長</p>	<p>何かご意見ございませんか。</p> <p>先程、ご説明のあったパブコメに対する対応ですが、これを先程のような簡単な対応の仕方では、せっかく意見を言ったのに、何か突き放されたような風を感じるるので、そこに対する対応はもう少し考えていただいても良いかなと思います。</p> <p>何か対応について上手い表現ができると良い。直接的には無理でも、その意見をどこかに反映していけるというふうに記載してほしいこういう方は、一生懸命に考えているので、自治会の方や事業者の方で意見を言ったけどそれを駄目だと言われたら、次からは、“もう言うのを止めよう” となってしまう。</p>
<p>事務局 市・浜崎係長 林 座長</p>	<p>事務局の方で対応は考えたいと思います。</p> <p>他にスケジュール等について、何かご意見ありませんか。</p> <p>無ければ、これで終わりにしたいと思います。</p> <p>先程も言いましたように、「デザイン指針(案)」については、少しお時間をいただいてチェックしていただき、何かあれば事務局の方へ伝えていただければと思います。宜しくお願いします。</p> <p>それでは、事務局へお返しします。</p>
<p>事務局 市・片江室長</p>	<p>本日は、大変長い時間にわたり、熱心にご議論いただき、ありがとうございました。</p> <p>若干修正すべき点やご意見をいただきましたけれども、これで1年間かけて、議論していただきました、デザイン指針の内容をほぼ固めることができました。これも、皆様方のおかげでございます。本当に感謝しております。</p> <p>今後、いただいている修正点、ご意見を修正しましたものを次回調整会議にご報告させていただきたいと思います。</p> <p>先ほど事務局から説明いたしましたとおり、3月19日の開催を予定しております。</p> <p>内容につきましては、駅舎・駅前広場のデザイン基本計画および本日ご意見をいただいたところの「デザイン指針」についての報告を予定しております。</p> <p>時期が近づきましたら、事務局の方からまた開催のお知らせはさせていただきたいと思います。</p> <p>大変お忙しい時期と思いますが、ご出席の程、宜しくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議(第5回)を終了させていただきます。どうもお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>